

【児童へのお話】

17日間の冬休みはいかがでしたか。年末年始の楽しいこと、頑張ったことなど、一人ひとりあったことと思います。いよいよ今日から学年末、三学期のスタートです。

さて今日は、「行事食」について、皆さんにお話しします。

校長先生は、先週7日の土曜日に、七草がゆを食べました。皆さんは、七草がゆに入っている春の七草を言えますか？和歌に詠まれているとおり、「せり なずな ごぎょう はこべら ほとけのざ すずな すずしろ」これぞ七草です。ちなみに、最後のすずなとすずしろはカブとダイコンのことで、これは皆さんも普段からよく食べていると思います。この春の七草には、食欲を増したり、風邪の予防になったり、目によいビタミンがとれたりするなどの身体によい効果があるため、「1年間病気をせずに元気に過ごせますように」という願いを込めて、人々は古くから七草がゆを食べていました。

この七草がゆのように、その季節や行事のときの特別な食べ物のことを、「行事食」といいます。七草がゆはとてもシンプルな味なので、小学生の皆さんはあまり美味しく感じないかもしれませんが、昔から続いている「行事食」には、昔の人の健康への知恵がたくさん詰まっていますので、残さずしっかり食べられるといいですね。行事食としては、1月にはおせち料理、お雑煮、お汁粉などが、2月には恵方巻、福豆、おいなりさんなどが、3月にはちらし寿司、ぼた餅などがあります。お家や給食で食べるときには、その行事食の意味や由来も考えながら食べるようにしてください。

今年度の番町小での生活は残り3ヶ月、登校日は53日間ほどです。三学期も一日ひとつ、「考える子 思いやる子 やりぬく子」につながる努力を積み重ね、充実した毎日にしていってください。

【本講話について】

令和4年度の締めくくりとなる三学期がスタートしました。お正月の楽しみはそれぞれですが、リフレッシュした様子の子が多く、お家で楽しいことがたくさんあったことが伝わってきました。皆様は、どのような年越しをされたのでしょうか。

三学期には、自分の成長を見つめ、次年度へのよい繋がりとなる53日間となるよう、穏やかな生活態度を心がけさせていきたいと思っております。本年もご協力くださいますよう、お願いいたします。